Ground Survey

地盤調査報告書

REPORT

地盤太郎様邸

調査日　平成27年8月28日

ジオサイン株式会社

住所：東京都江東区木場1-5-25
TEL：03-6458-6820
FAX：03-5606-7820
URL：http://www.geosign.co.jp

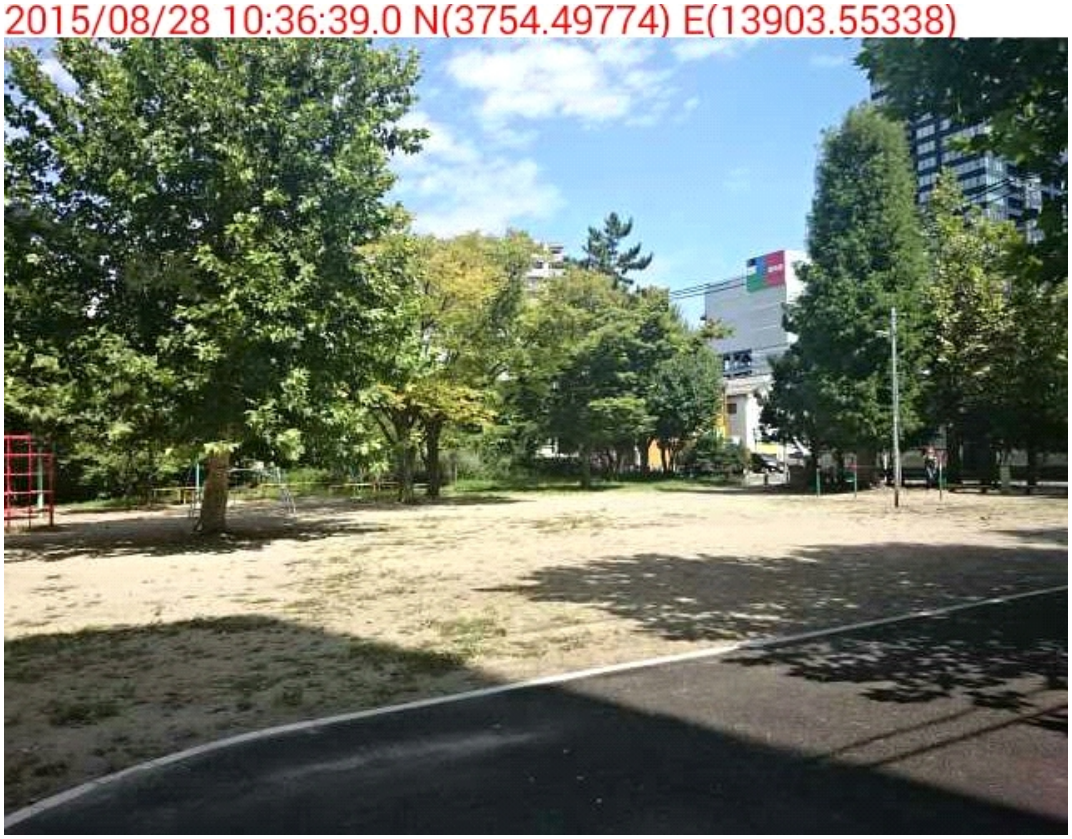
GeoSign

はじめに

本報告書は、ご依頼のあった建設予定地にて実施した地盤調査の結果をとりまとめたものです。

調査の概要

調査名称	地盤太郎様邸
調査場所	新潟市中央区米山８８８－８８８－８８８
調査年月日	平成27年8月28日
天候	快晴/晴
発注者	ジオサイン工務店
調査担当	鈴木一郎
調査方法	スウェーデン式サウンディング試験(JIS A 1221)



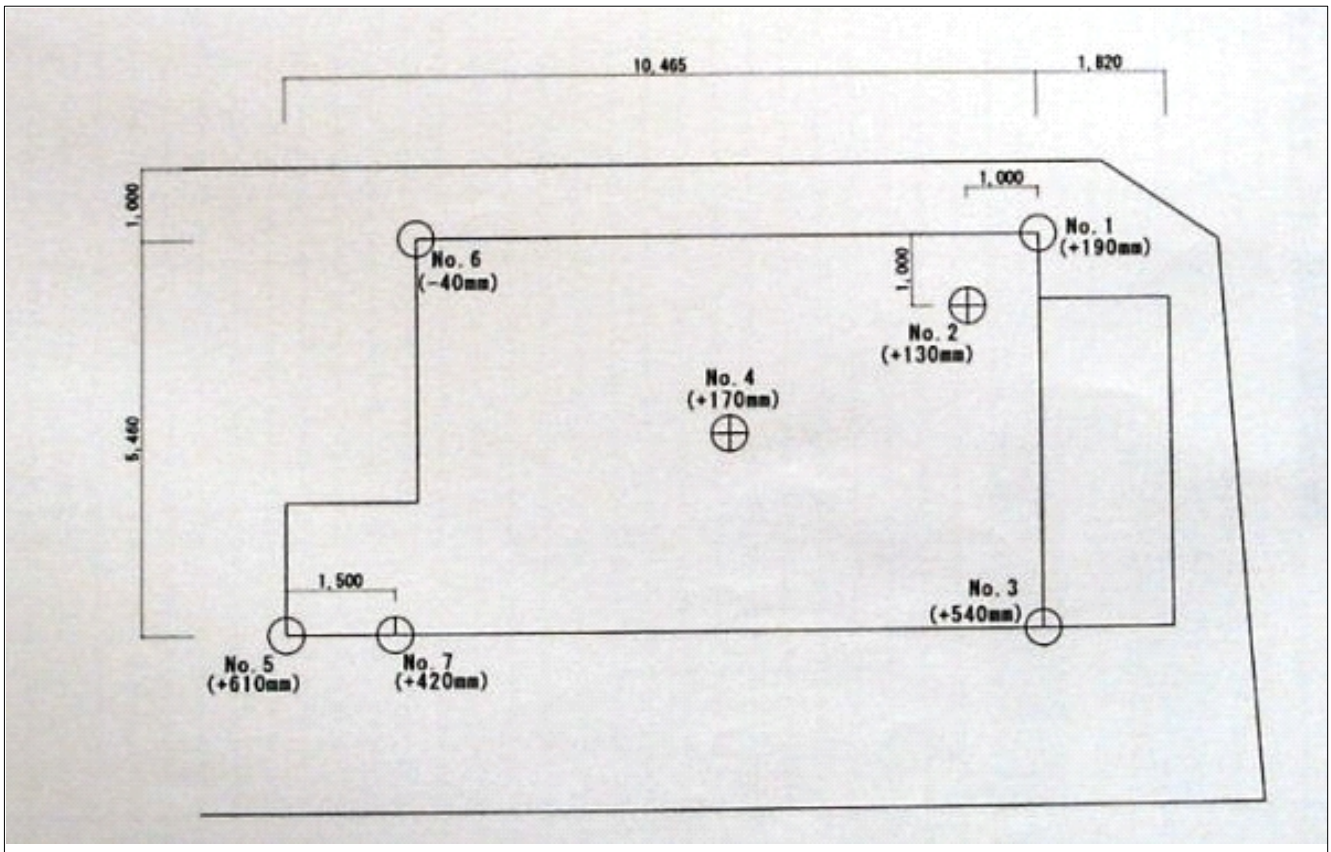
調査地全景

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

調査位置図

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

スウェーデン式サウンディング調査と敷地状況



測点位置図

スウェーデン式サウンディング調査数量と地下水位

地下水位　有り G.L.-0.25 m（測定方法：周辺データ）					
測点番号	標高	調査深度(G.L.)	測点番号	標高	調査深度(G.L.)
1	KBM 0m	15.00m	4	KBM 0m	7.25m
2	KBM 0m	10.00m	5	KBM 0m	7.25m
3	KBM 0m	10.01m			

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

現場写真

2015/08/28 10:36:46.0 N(3754.49867) E(13903.55253)

前面道路1

2015/08/28 10:37:02.0 N(3754.49649) E(13903.54435)

前面道路2

2015/08/28 10:37:11.0 N(3754.49658) E(13903.544)

KBM確認

2015/08/28 10:37:25.0 N(3754.49696) E(13903.54773)

東側状況1

2015/08/28 10:37:49.0 N(3754.50077) E(13903.56386)

東側状況2

2015/08/28 10:38:16.0 N(3754.5122) E(13903.56941)

西側状況1

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

現場写真（２）

2015/08/28 10:38:25.0 N(3754.51335) E(13903.56959)

西側状況2

2015/08/28 10:38:34.0 N(3754.51641) E(13903.56822)

南側状況1

2015/08/28 10:38:40.0 N(3754.51734) E(13903.56745)

南側状況2

2015/08/28 10:39:13.0 N(3754.53792) E(13903.55344)

北側状況1

2015/08/28 10:39:19.0 N(3754.53836) E(13903.55216)

北側状況2

2015/08/28 10:39:27.0 N(3754.53821) E(13903.55183)

測点1

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

現場写真（３）

2015/08/28 10:39:32.0 N(3754.53916) E(13903.55134)

測点2

2015/08/28 10:40:09.0 N(3754.52975) E(13903.53571)

測点3

2015/08/28 10:40:16.0 N(3754.52791) E(13903.53481)

測点4

2015/08/28 10:40:28.0 N(3754.52287) E(13903.53186)

測点5

2015/08/28 10:40:36.0 N(3754.52224) E(13903.52959)

形状確認

Copyright(c) G-Space Ⅱ Sweden Pro.

調査結果

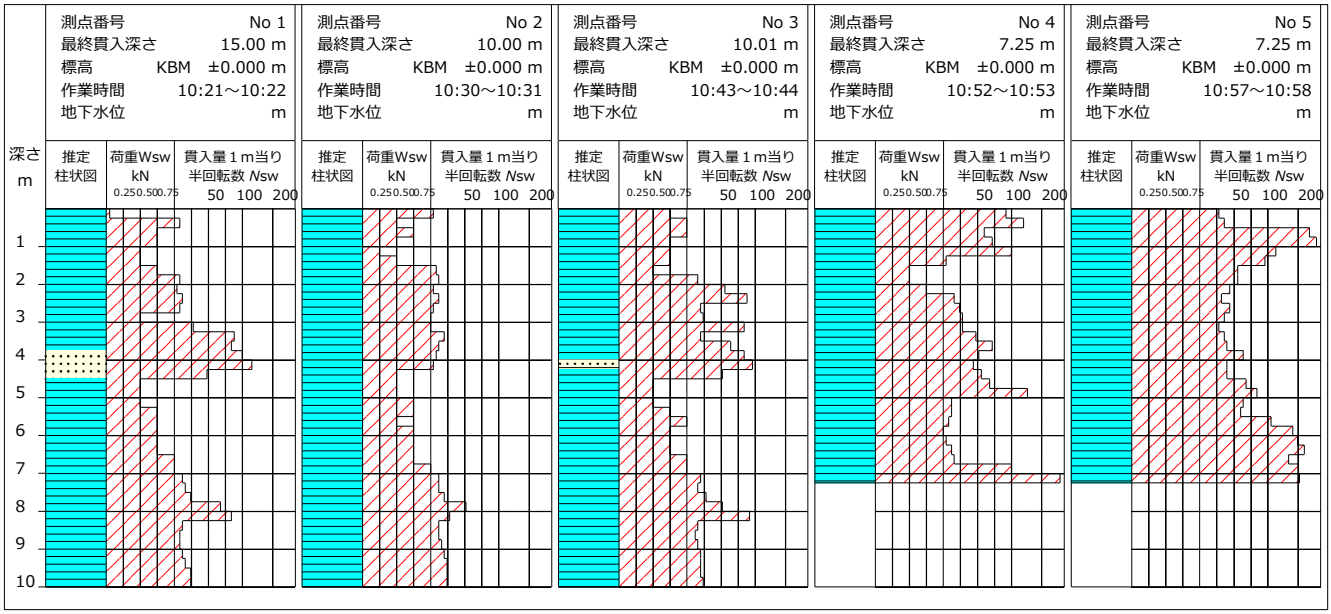
地盤の状況

地盤構成・支持地盤・支持力の考察

G.L.-1.0mの付近で支持層が確認される。

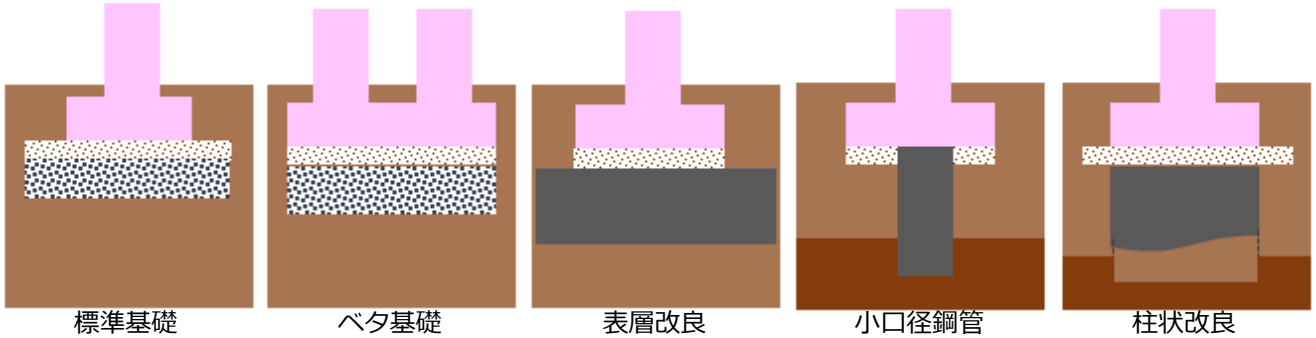
スウェーデン式サウンディング試験の結果

基礎底２mまでの自沈層	0.75kN自沈以下の層厚累計が0.5m未満
基礎底２m～５mまでの自沈層	0.5kN自沈以下の層厚累計が1.0m未満
Smax/Smin（堅固層の傾き）	1.15未満



基礎工法に対する考察

設計条件	建物の種別（木造2階）　　荷重の概略値（20）kN/㎡
基礎形式の検討	調査結果より標準基礎が選定される。



基礎工法の種別

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

現地調査（敷地内調査）

既存資料	周辺調査データ	SWSデータ	□あり ■なし	ボーリングデータ	■あり □なし
	地図データ	地形図	□あり ■なし	旧地形図	■あり □なし
	地形・地質データ	地形分類図	□あり ■なし	表層地質図	■あり □なし

地形観察	周辺地形	地形区分	■丘陸地 ■台地 ■段丘 ■平坦化地 ■崖錘 ■扇状地 ■扇状地性低地 ■自然堤防 ■砂州 ■砂丘 ■後背湿地 ■谷底低地 ■氾濫平野 ■旧河道 ■三角州 ■湿地 ■海岸平野 ■干拓地 ■盛土地 ■埋立地 ■浅い谷 ■斜面 ■人工地盤 ■その他
	地形位置		■頂上部 ■中腹部 ■傾斜部 ■裾部 ■平坦部
	水路・河川		□水路・河川なし ■水路・河川あり （調査地より10.51m付近に 幅11.55mの河川・水路）

敷地内観察	敷地履歴	現状	■整地 ■既成宅地 ■不整地の原野 ■水田 ■畑 ■山林 ■雑木林 ■造成地 ■解体後の更地 ■解体中 ■造成中 ■駐車場 ■その他
		前歴	■既成宅地 ■原野 ■水田 ■畑 ■山林 ■雑木林 ■崖地 ■河川敷 ■河川 ■池沼 ■工場 ■駐車場 ■その他
	造成状況	盛土の有無	□盛土なし ■盛土あり （ □1m未満 □1m以上 □2m以上 ■切土・盛土が混在）
		切土の有無	□切土なし ■切土あり （□全面切土 ■切土・盛土が混在）
		擁壁の有無	□擁壁なし ■擁壁あり （ □-2m以上 □-1m以上 □-1m未満 □+1m未満 ■+1m以上 □+2m以上 □その他）
		盛土経過年数	□盛土なし ■盛土あり （ □1年未満 □1年～3年未満 □3年～5年未満 ■5年以上 □10年以上 □不明）
		新規盛土の予定	□なし ■あり （ □1m未満 ■1～2m未満 □2m以上）
		地表面の起状	■平坦 ■起伏 ■傾斜 ■その他
		地表面の状況	■更地 ■雑草 ■コンクリート敷 ■砂利敷 ■芝生 ■アスファルト ■田んぼ ■畑 ■その他
		表土状態	□乾 □湿 □硬 □軟 ■極軟 □その他
	既存建物状況	既存建物	□なし ■あり （ 築年数 25年 ）
		既存地下駐車場	□なし ■あり （■壁面亀裂 ■スラブ亀裂 ■その他）
		建物構造	□なし □木造 ■鉄骨造 □RC造 □その他
		階数	□なし □平屋 □2階建て ■3階建て □その他
		建物基礎の亀裂	□亀裂なし ■亀裂あり （■少ない □多い）
		建物外壁の亀裂	□亀裂なし ■亀裂あり （■少ない □多い）
		建物の異常	□異常なし ■異常あり

施工	施工支援	搬入障害	□なし ■あり （■道路幅狭い ■カーブきつい ■クレーン必要 ■その他）
		表層地盤状況	□異常なし ■異常あり （■表層軟弱 ■雨天時は注意 ■その他）
		現場内高低差	□なし ■あり （□-2m以上 □-1m以上 □-1m以内 ■-0.5m以内 □+0.5m以内 □+1m以内 □+1m以上 □+2m以上 □その他）
		電線の有無	□なし ■あり （■部分的に障害になる □敷地内全体に障害になる）
		スペース	□なし ■あり （■ヤード狭い ■構造物あり ■駐車スペースなし ■その他）
		その他	□現調不要 □現調必要 ■その他

備考	あかさたなはまやらわ かさたなはまやらわあ さたなはまやらわあか たなはまやらわあかさ

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

現地調査（東側隣接地）

2015/08/28 10:37:25.0 N(3754.49696) E(13903.54773) 	2015/08/28 10:37:49.0 N(3754.50077) E(13903.56386)
東側状況1	東側状況2
北緯:37.908283　東経：139.059128	北緯:37.908347　東経：139.059398

隣接地状況	高低差	□なし　■あり （□-5m以上 □-2m以上 □-1.5m以上 ■-1m以上 □-1m未満 □+1m未満 □+1m以上 □+1.5m以上 □+2m以上 □+5m以上）
	境界	■なし ■法面 ■擁壁 ■ブロック ■金網 ■生垣 ■U字溝 ■L型側溝 ■歩道 ■境界杭 ■その他
	隣地種別	■宅地　■店舗　■既存建物　■更地　■駐車場　■道路　■水田　■畑 ■雑木林　■果樹園　■河川　■水路　■池沼　■原野　■造成地　■その他

擁壁状況	擁壁の種類	□なし ■あり （■RC造 ■PC造 ■CB造 ■間知ブロック ■間知石 ■大谷石 ■玉石 ■増積 ■万年塀 ■その他）
	擁壁の異常	□なし ■あり （■沈下 ■傾斜 ■クラック ■膨み ■染み出し ■水抜き孔 ■その他）
	水抜き孔	■なし　□あり

建物状況	建物の有無	□なし　■あり　（□木造 ■鉄骨造 □RC造 □その他）
	建物の階数	□なし　■あり　（□平屋 □2階建て ■3階建て □その他）
	建物の異常	□なし　■あり　（■沈下　■傾斜　■基礎クラック　■外壁クラック　■建具不良　■その他）

道路状況	道路の有無	□なし　■あり
	道路の種別	□なし　■あり　（（■舗装　□未舗装）　有効道路幅員（1234 m））
	道路の異常	□なし　■あり　（■亀裂　■凹凸　■段差　■その他）

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

現地調査（西側隣接地）

2015/08/28 10:38:16.0 N(3754.5122) E(13903.56941) 	2015/08/28 10:38:25.0 N(3754.51335) E(13903.56959)
西側状況1	西側状況2
北緯:37.908537　東経：139.059490	北緯:37.908557　東経：139.059493

隣接地状況	高低差	□なし　■あり （□-5m以上 □-2m以上 □-1.5m以上 □-1m以上 ■-1m未満 □+1m未満 □+1m以上 □+1.5m以上 □+2m以上 □+5m以上）
	境界	■なし ■法面 ■擁壁 ■ブロック ■金網 ■生垣 ■U字溝 ■L型側溝 ■歩道 ■境界杭 ■その他
	隣地種別	■宅地　■店舗　■既存建物　■更地　■駐車場　■道路　■水田　■畑 ■雑木林　■果樹園　■河川　■水路　■池沼　■原野　■造成地　■その他

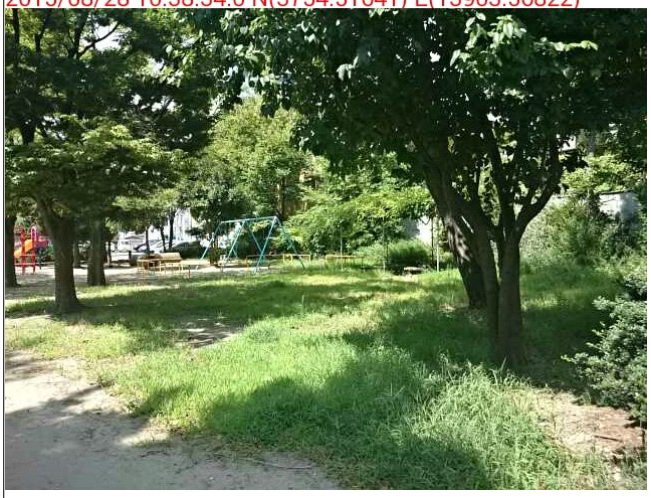
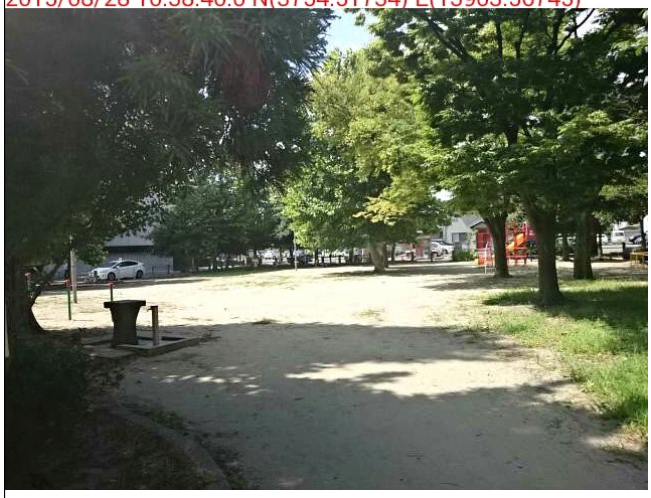
擁壁状況	擁壁の種類	□なし ■あり （■RC造 ■PC造 ■CB造 ■間知ブロック ■間知石 ■大谷石 ■玉石 ■増積 ■万年塀 ■その他）
	擁壁の異常	□なし ■あり （■沈下 ■傾斜 ■クラック ■膨み ■染み出し ■水抜き孔 ■その他）
	水抜き孔	□なし　■あり

建物状況	建物の有無	□なし　■あり　（□木造 □鉄骨造 □RC造 ■その他）
	建物の階数	□なし　■あり　（□平屋 ■2階建て □3階建て □その他）
	建物の異常	□なし　■あり　（■沈下　■傾斜　■基礎クラック　■外壁クラック　■建具不良　■その他）

道路状況	道路の有無	□なし　■あり
	道路の種別	□なし　■あり　（（■舗装　□未舗装）　有効道路幅員（5.45 m））
	道路の異常	□なし　■あり　（■亀裂　■凹凸　■段差　■その他）

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

現地調査（南側隣接地）

2015/08/28 10:38:34.0 N(3754.51641) E(13903.56822) 	2015/08/28 10:38:40.0 N(3754.51734) E(13903.56745) 
南側状況1	南側状況2
北緯:37.908607　東経：139.059470	北緯:37.908622　東経：139.059458

隣接地状況	高低差	■なし　□あり （□-5m以上 □-2m以上 □-1.5m以上 □-1m以上 □-1m未満 □+1m未満 □+1m以上 □+1.5m以上 □+2m以上 □+5m以上）
	境界	■なし ■法面 ■擁壁 ■ブロック ■金網 ■生垣 ■U字溝 ■L型側溝 ■歩道 ■境界杭 ■その他
	隣地種別	■宅地　■店舗　■既存建物　■更地　■駐車場　■道路　■水田　■畑 ■雑木林　■果樹園　■河川　■水路　■池沼　■原野　■造成地　■その他

擁壁状況	擁壁の種類	□なし ■あり （■RC造 ■PC造 ■CB造 ■間知ブロック ■間知石 ■大谷石 ■玉石 ■増積 ■万年塀 ■その他）
	擁壁の異常	■なし □あり （□沈下 □傾斜 □クラック □膨み □染み出し □水抜き孔 □その他）
	水抜き孔	■なし　□あり

建物状況	建物の有無	□なし　■あり　（□木造 ■鉄骨造 □RC造 □その他）
	建物の階数	■なし　□あり　（□平屋 □2階建て □3階建て □その他）
	建物の異常	□なし　■あり　（■沈下　■傾斜　■基礎クラック　■外壁クラック　■建具不良　■その他）

道路状況	道路の有無	□なし　■あり
	道路の種別	■なし　□あり　（（□舗装　□未舗装）　有効道路幅員（ _ m））
	道路の異常	□なし　■あり　（■亀裂　■凹凸　■段差　■その他）

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

現地調査（北側隣接地）

2015/08/28 10:39:13.0 N(3754.53792) E(13903.55344) 	2015/08/28 10:39:19.0 N(3754.53836) E(13903.55216)
北側状況1	北側状況2
北緯:37.908965　東経：139.059223	北緯:37.908973　東経：139.059203

隣接地状況	高低差	□なし　■あり （■-5m以上 □-2m以上 □-1.5m以上 □-1m以上 □-1m未満 □+1m未満 □+1m以上 □+1.5m以上 □+2m以上 □+5m以上）
	境界	■なし ■法面 ■擁壁 ■ブロック ■金網 ■生垣 ■U字溝 ■L型側溝 ■歩道 ■境界杭 ■その他
	隣地種別	■宅地　■店舗　■既存建物　■更地　■駐車場　■道路　■水田　■畑 ■雑木林　■果樹園　■河川　■水路　■池沼　■原野　■造成地　■その他

擁壁状況	擁壁の種類	□なし ■あり （■RC造 ■PC造 ■CB造 ■間知ブロック ■間知石 ■大谷石 ■玉石 ■増積 ■万年塀 ■その他）
	擁壁の異常	□なし ■あり （■沈下 ■傾斜 ■クラック ■膨み ■染み出し ■水抜き孔 ■その他）
	水抜き孔	□なし　■あり

建物状況	建物の有無	□なし　■あり　（□木造 □鉄骨造 □RC造 ■その他）
	建物の階数	□なし　■あり　（■平屋 □2階建て □3階建て □その他）
	建物の異常	□なし　■あり　（■沈下　■傾斜　■基礎クラック　■外壁クラック　■建具不良　■その他）

道路状況	道路の有無	□なし　■あり
	道路の種別	■なし　□あり　（（□舗装　□未舗装）　有効道路幅員（ _ m））
	道路の異常	□なし　■あり　（■亀裂　■凹凸　■段差　■その他）

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

スウェーデン式サウンディング試験結果（１）

スウェーデン式サウンディング試験					
調 査 名	地盤太郎様邸			測点番号	1
調査地点	新潟市中央区米山８８８－８８８－８８８			年 月 日	平成27年8月28日
標　　高	KBM　±0.000 m	最終貫入深さ	15.00 m	試 験 者	鈴木一郎
水　　位	確認できず	天　　候	快晴/晴	試験方法	全自動

荷重 Wsw kN	半回転数 Na	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1ｍ当たり半回転数 Nsw	記事 音・感触	記事 貫入状況	推定柱状図	荷重 Wsw kN 0.25 0.50 0.75	貫入量１ｍ当り半回転数 Nsw 50 100 200	換算 N値 N	換算 q a kN/㎡
0.05	0.0	0.25	25	0						0.2	1.5
1.00	2.0	0.50	25	8						3.4	42.5
0.75	0.0	0.75	25	0		ロッド回転				2.3	22.5
0.75	0.0	1.00	25	0		〃				2.3	22.5
0.50	0.0	1.25	25	0		〃				1.5	15.0
0.50	0.0	1.50	25	0		〃				1.5	15.0
0.75	0.0	1.75	25	0		無回転急速				2.3	22.5
1.00	2.0	2.00	25	8						3.4	42.5
1.00	1.0	2.25	25	4						3.2	40.0
1.00	3.0	2.50	25	12						3.6	45.0
1.00	2.0	2.75	25	8						3.4	42.5
0.50	0.0	3.00	25	0		ロッド回転				1.5	15.0
1.00	7.0	3.25	25	28						4.4	55.0
1.00	22.0	3.50	25	88						7.4	92.5
1.00	21.0	3.75	25	84						7.2	90.0
1.00	25.0	4.00	25	100	ジャリジャリ					8.7	69.6
1.00	31.0	4.25	25	124	〃					10.3	82.5
1.00	12.0	4.50	25	48	〃					5.2	41.7
0.50	0.0	4.75	25	0		ロッド回転				1.5	15.0
0.50	0.0	5.00	25	0		回転急速				1.5	15.0
0.50	0.0	5.25	25	0						1.5	15.0
0.75	0.0	5.50	25	0		回転急速				2.3	22.5
0.75	0.0	5.75	25	0		〃				2.3	22.5
0.75	0.0	6.00	25	0		ロッド回転				2.3	22.5
0.75	0.0	6.25	25	0		〃				2.3	22.5
0.75	0.0	6.50	25	0		〃				2.3	22.5
1.00	0.0	6.75	25	0		〃				3.0	30.0
1.00	0.0	7.00	25	0		〃				3.0	30.0
1.00	3.0	7.25	25	12						3.6	45.0
1.00	4.0	7.50	25	16						3.8	47.5
1.00	6.0	7.75	25	24						4.2	52.5
1.00	17.0	8.00	25	68						6.4	80.0
1.00	21.0	8.25	25	84						7.2	90.0
1.00	3.0	8.50	25	12						3.6	45.0
1.00	2.0	8.75	25	8						3.4	42.5
1.00	2.0	9.00	25	8						3.4	42.5
1.00	3.0	9.25	25	12						3.6	45.0
1.00	4.0	9.50	25	16						3.8	47.5
1.00	6.0	9.75	25	24						4.2	52.5
1.00	6.0	10.00	25	24						4.2	52.5

凡例　粘性土　砂質土　礫質土　ローム　砂　シラス　マサ　シルト

スウェーデン式サウンディング試験結果（２）

スウェーデン式サウンディング試験					
調 査 名	地盤太郎様邸			測点番号	1
調査地点	新潟市中央区米山８８８－８８８－８８８			年 月 日	平成27年8月28日
標　　高	KBM　±0.000 m	最終貫入深さ	15.00 m	試 験 者	鈴木一郎
水　　位	確認できず	天　　候	快晴/晴	試験方法	全自動

荷重 Wsw kN	半回転数 Na	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1ｍ当たり半回転数 Nsw	記事 音・感触	記事 貫入状況	推定柱状図	荷重 Wsw kN 0.25 0.50 0.75	貫入量１ｍ当り半回転数 Nsw 50 100 200	換算 N値 N	換算 q a kN/㎡
1.00	7.0	10.25	25	28						4.4	55.0
1.00	6.0	10.50	25	24						4.2	52.5
1.00	7.0	10.75	25	28						4.4	55.0
1.00	8.0	11.00	25	32						4.6	57.5
1.00	8.0	11.25	25	32						4.6	57.5
1.00	10.0	11.50	25	40						5.0	62.5
1.00	10.0	11.75	25	40						5.0	62.5
1.00	10.0	12.00	25	40						5.0	62.5
1.00	10.0	12.25	25	40						5.0	62.5
1.00	11.0	12.50	25	44						5.2	65.0
1.00	11.0	12.75	25	44						5.2	65.0
1.00	11.0	13.00	25	44						5.2	65.0
1.00	12.0	13.25	25	48						5.4	67.5
1.00	15.0	13.50	25	60						6.0	75.0
1.00	18.0	13.75	25	72						6.6	82.5
1.00	15.0	14.00	25	60						6.0	75.0
1.00	20.0	14.25	25	80						7.0	87.5
1.00	23.0	14.50	25	92						7.6	95.0
1.00	102.0	14.75	25	408		強打撃貫入				23.4	292.5
1.00	102.0	15.00	25	408		〃				23.4	292.5

凡例　粘性土　砂質土　礫質土　ローム　砂　シラス　マサ　シルト

Copyright(c) G-Space Ⅱ Sweden Pro.

スウェーデン式サウンディング試験結果（３）

スウェーデン式サウンディング試験					
調 査 名	地盤太郎様邸			測点番号	2
調査地点	新潟市中央区米山８８８－８８８－８８８			年 月 日	平成27年8月28日
標　　高	KBM　±0.000 m	最終貫入深さ	10.00 m	試 験 者	鈴木一郎
水　　位	確認できず	天　　候	快晴/晴	試験方法	全自動

荷重 Wsw kN	半回転数 Na	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1ｍ当たり半回転数 Nsw	記事 音・感触	記事 貫入状況	推定柱状図	荷重 Wsw kN 0.25 0.50 0.75	貫入量１ｍ当り半回転数 Nsw 50 100 200	換算 N値 N	換算 q a kN/㎡
1.00	1.0	0.25	25	4						3.2	40.0
0.50	0.0	0.50	25	0		無回転急速				1.5	15.0
0.75	0.0	0.75	25	0						2.3	22.5
0.50	0.0	1.00	25	0		ロッド回転				1.5	15.0
0.25	0.0	1.25	25	0		〃				0.8	7.5
0.50	0.0	1.50	25	0		〃				1.5	15.0
1.00	2.0	1.75	25	8						3.4	42.5
1.00	3.0	2.00	25	12						3.6	45.0
1.00	1.0	2.25	25	4						3.2	40.0
1.00	3.0	2.50	25	12						3.6	45.0
1.00	1.0	2.75	25	4						3.2	40.0
1.00	0.0	3.00	25	0						3.0	30.0
1.00	0.0	3.25	25	0		ロッド回転				3.0	30.0
1.00	5.0	3.50	25	20						4.0	50.0
1.00	3.0	3.75	25	12						3.6	45.0
1.00	2.0	4.00	25	8						3.4	42.5
1.00	1.0	4.25	25	4						3.2	40.0
0.50	0.0	4.50	25	0		無回転急速				1.5	15.0
0.50	0.0	4.75	25	0		回転急速				1.5	15.0
0.50	0.0	5.00	25	0		ロッド回転				1.5	15.0
0.75	0.0	5.25	25	0		回転急速				2.3	22.5
0.75	0.0	5.50	25	0		〃				2.3	22.5
0.50	0.0	5.75	25	0		ロッド回転				1.5	15.0
0.75	0.0	6.00	25	0		〃				2.3	22.5
0.75	0.0	6.25	25	0		〃				2.3	22.5
0.75	0.0	6.50	25	0		〃				2.3	22.5
0.75	0.0	6.75	25	0		〃				2.3	22.5
1.00	0.0	7.00	25	0		〃				3.0	30.0
1.00	3.0	7.25	25	12						3.6	45.0
1.00	3.0	7.50	25	12						3.6	45.0
1.00	5.0	7.75	25	20						4.0	50.0
1.00	13.0	8.00	25	52						5.6	70.0
1.00	7.0	8.25	25	28						4.4	55.0
1.00	3.0	8.50	25	12						3.6	45.0
1.00	3.0	8.75	25	12						3.6	45.0
1.00	4.0	9.00	25	16						3.8	47.5
1.00	5.0	9.25	25	20						4.0	50.0
1.00	6.0	9.50	25	24						4.2	52.5
1.00	6.0	9.75	25	24						4.2	52.5
1.00	6.0	10.00	25	24						4.2	52.5

凡例　粘性土　砂質土　礫質土　ローム　砂　シラス　マサ　シルト

Copyright(c) G-Space Ⅱ Sweden Pro.

スウェーデン式サウンディング試験結果（４）

スウェーデン式サウンディング試験					
調 査 名	地盤太郎様邸			測点番号	3
調査地点	新潟市中央区米山８８８－８８８－８８８			年 月 日	平成27年8月28日
標　　高	KBM　±0.000 m	最終貫入深さ	10.01 m	試 験 者	鈴木一郎
水　　位	確認できず	天　　候	快晴/晴	試験方法	全自動

荷重 Wsw kN	半回転数 Na	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1ｍ当たり半回転数 Nsw	記事 音・感触	記事 貫入状況	推定柱状図	荷重 Wsw kN 0.25 0.50 0.75	貫入量１ｍ当り半回転数 Nsw 50 100 200	換算 N値 N	換算 q a kN/㎡
0.75	0.0	0.25	25	0		ロッド回転				2.3	22.5
1.00	0.0	0.50	25	0						3.0	30.0
1.00	0.0	0.75	25	0		無回転急速				3.0	30.0
0.75	0.0	1.00	25	0						2.3	22.5
0.75	0.0	1.25	25	0		ロッド回転				2.3	22.5
0.75	0.0	1.50	25	0		無回転急速				2.3	22.5
0.50	0.0	1.75	25	0		ロッド回転				1.5	15.0
1.00	4.0	2.00	25	16						3.8	47.5
1.00	14.0	2.25	25	56						5.8	72.5
1.00	22.0	2.50	25	88						7.4	92.5
1.00	5.0	2.75	25	20						4.0	50.0
1.00	6.0	3.00	25	24						4.2	52.5
1.00	21.0	3.25	25	84						7.2	90.0
1.00	5.0	3.50	25	20						4.0	50.0
1.00	16.0	3.75	25	64						6.2	77.5
1.00	21.0	4.00	25	84						7.2	90.0
1.00	24.0	4.25	25	96	ジャリジャリ					8.4	67.5
1.00	13.0	4.50	25	52						5.6	70.0
0.50	0.0	4.75	25	0		ロッド回転				1.5	15.0
0.50	0.0	5.00	25	0		〃				1.5	15.0
0.50	0.0	5.25	25	0		〃				1.5	15.0
0.75	0.0	5.50	25	0		〃				2.3	22.5
1.00	0.0	5.75	25	0		〃				3.0	30.0
0.75	0.0	6.00	25	0		〃				2.3	22.5
0.75	0.0	6.25	25	0		〃				2.3	22.5
0.75	0.0	6.50	25	0		〃				2.3	22.5
1.00	0.0	6.75	25	0		〃				3.0	30.0
1.00	0.0	7.00	25	0		〃				3.0	30.0
1.00	5.0	7.25	25	20						4.0	50.0
1.00	4.0	7.50	25	16						3.8	47.5
1.00	7.0	7.75	25	28						4.4	55.0
1.00	13.0	8.00	25	52						5.6	70.0
1.00	23.0	8.25	25	92						7.6	95.0
1.00	4.0	8.50	25	16						3.8	47.5
1.00	3.0	8.75	25	12						3.6	45.0
1.00	4.0	9.00	25	16						3.8	47.5
1.00	5.0	9.25	25	20						4.0	50.0
1.00	5.0	9.50	25	20						4.0	50.0
1.00	5.0	9.75	25	20						4.0	50.0
1.00	6.0	10.00	25	24						4.2	52.5

凡例　粘性土　砂質土　礫質土　ローム　砂　シラス　マサ　シルト

スウェーデン式サウンディング試験結果（５）

スウェーデン式サウンディング試験					
調 査 名	地盤太郎様邸			測点番号	3
調査地点	新潟市中央区米山８８８－８８８－８８８			年 月 日	平成27年8月28日
標　　高	KBM　±0.000 m	最終貫入深さ	10.01 m	試 験 者	鈴木一郎
水　　位	確認できず	天　　候	快晴/晴	試験方法	全自動

荷重 Wsw kN	半回転数 Na	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1ｍ当たり半回転数 Nsw	記事 音・感触	記事 貫入状況	推定柱状図	荷重 Wsw kN 0.25 0.50 0.75	貫入量１ｍ当り半回転数 Nsw 50 100 200	換算 N値 N	換算 qａ kN/㎡
1.00	0.0	10.01	1	0						3.0	30.0

凡例　粘性土　砂質土　礫質土　ローム　砂　シラス　マサ　シルト

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

スウェーデン式サウンディング試験結果（６）

スウェーデン式サウンディング試験					
調 査 名	地盤太郎様邸			測点番号	4
調査地点	新潟市中央区米山８８８－８８８－８８８			年 月 日	平成27年8月28日
標　　高	KBM　±0.000 m	最終貫入深さ	7.25 m	試 験 者	鈴木一郎
水　　位	確認できず	天　　候	快晴/晴	試験方法	全自動

荷重 Wsw kN	半回転数 Na	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1ｍ当たり半回転数 Nsw	記事 音・感触	記事 貫入状況	推定柱状図	荷重 Wsw kN 0.25 0.50 0.75	貫入量１ｍ当り半回転数 Nsw 50 100 200	換算 N値 N	換算 qa kN/㎡
1.00	23.0	0.25	25	92						7.6	95.0
1.00	33.0	0.50	25	132						9.6	120.0
1.00	15.0	0.75	25	60						6.0	75.0
1.00	18.0	1.00	25	72						6.6	82.5
1.00	25.0	1.25	25	100						8.0	100.0
1.00	1.0	1.50	25	4						3.2	40.0
0.50	0.0	1.75	25	0		無回転急速				1.5	15.0
0.50	0.0	2.00	25	0		回転急速				1.5	15.0
0.75	0.0	2.25	25	0		ロッド回転				2.3	22.5
1.00	4.0	2.50	25	16						3.8	47.5
1.00	6.0	2.75	25	24						4.2	52.5
1.00	7.0	3.00	25	28						4.4	55.0
1.00	7.0	3.25	25	28						4.4	55.0
1.00	12.0	3.50	25	48						5.4	67.5
1.00	18.0	3.75	25	72						6.6	82.5
1.00	13.0	4.00	25	52						5.6	70.0
1.00	11.0	4.25	25	44						5.2	65.0
1.00	14.0	4.50	25	56						5.8	72.5
1.00	17.0	4.75	25	68						6.4	80.0
1.00	36.0	5.00	25	144						10.2	127.5
1.00	3.0	5.25	25	12						3.6	45.0
1.00	3.0	5.50	25	12						3.6	45.0
1.00	2.0	5.75	25	8						3.4	42.5
1.00	0.0	6.00	25	0		ロッド回転				3.0	30.0
1.00	1.0	6.25	25	4						3.2	40.0
1.00	3.0	6.50	25	12						3.6	45.0
1.00	4.0	6.75	25	16						3.8	47.5
1.00	25.0	7.00	25	100						8.0	100.0
1.00	81.0	7.25	25	324						19.2	240.0

凡例：粘性土　砂質土　礫質土　ローム　砂　シラス　マサ　シルト

Copyright(c) G-Space Ⅱ Sweden Pro.

スウェーデン式サウンディング試験結果（７）

スウェーデン式サウンディング試験					
調 査 名	地盤太郎様邸			測点番号	5
調査地点	新潟市中央区米山８８８－８８８－８８８			年 月 日	平成27年8月28日
標　　高	KBM　±0.000 m	最終貫入深さ	7.25 m	試 験 者	鈴木一郎
水　　位	確認できず	天　　候	快晴/晴	試験方法	全自動

荷重 Wsw kN	半回転数 Na	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1ｍ当たり半回転数 Nsw	記事 音・感触	記事 貫入状況	推定柱状図	荷重 Wsw kN 0.25 0.50 0.75	貫入量１ｍ当り半回転数 Nsw 50 100 200	換算 N値 N	換算 qａ kN/㎡
1.00	7.0	0.25	25	28						4.4	55.0
1.00	9.0	0.50	25	36						4.8	60.0
1.00	64.0	0.75	25	256		強打撃貫入				15.8	197.5
1.00	75.0	1.00	25	300		〃				18.0	225.0
1.00	30.0	1.25	25	120		〃				9.0	112.5
1.00	24.0	1.50	25	96		〃				7.8	97.5
1.00	14.0	1.75	25	56						5.8	72.5
1.00	14.0	2.00	25	56						5.8	72.5
1.00	11.0	2.25	25	44						5.2	65.0
1.00	8.0	2.50	25	32						4.6	57.5
1.00	11.0	2.75	25	44						5.2	65.0
1.00	9.0	3.00	25	36						4.8	60.0
1.00	7.0	3.25	25	28						4.4	55.0
1.00	9.0	3.50	25	36						4.8	60.0
1.00	10.0	3.75	25	40						5.0	62.5
1.00	16.0	4.00	25	64						6.2	77.5
1.00	10.0	4.25	25	40						5.0	62.5
1.00	10.0	4.50	25	40						5.0	62.5
1.00	17.0	4.75	25	68						6.4	80.0
1.00	21.0	5.00	25	84						7.2	90.0
1.00	16.0	5.25	25	64						6.2	77.5
1.00	15.0	5.50	25	60						6.0	75.0
1.00	27.0	5.75	25	108						8.4	105.0
1.00	44.0	6.00	25	176						11.8	147.5
1.00	49.0	6.25	25	196						12.8	160.0
1.00	57.0	6.50	25	228						14.4	180.0
1.00	40.0	6.75	25	160						11.0	137.5
1.00	50.0	7.00	25	200						13.0	162.5
1.00	51.0	7.25	25	204						13.2	165.0

凡例　粘性土　砂質土　礫質土　ローム　砂　シラス　マサ　シルト

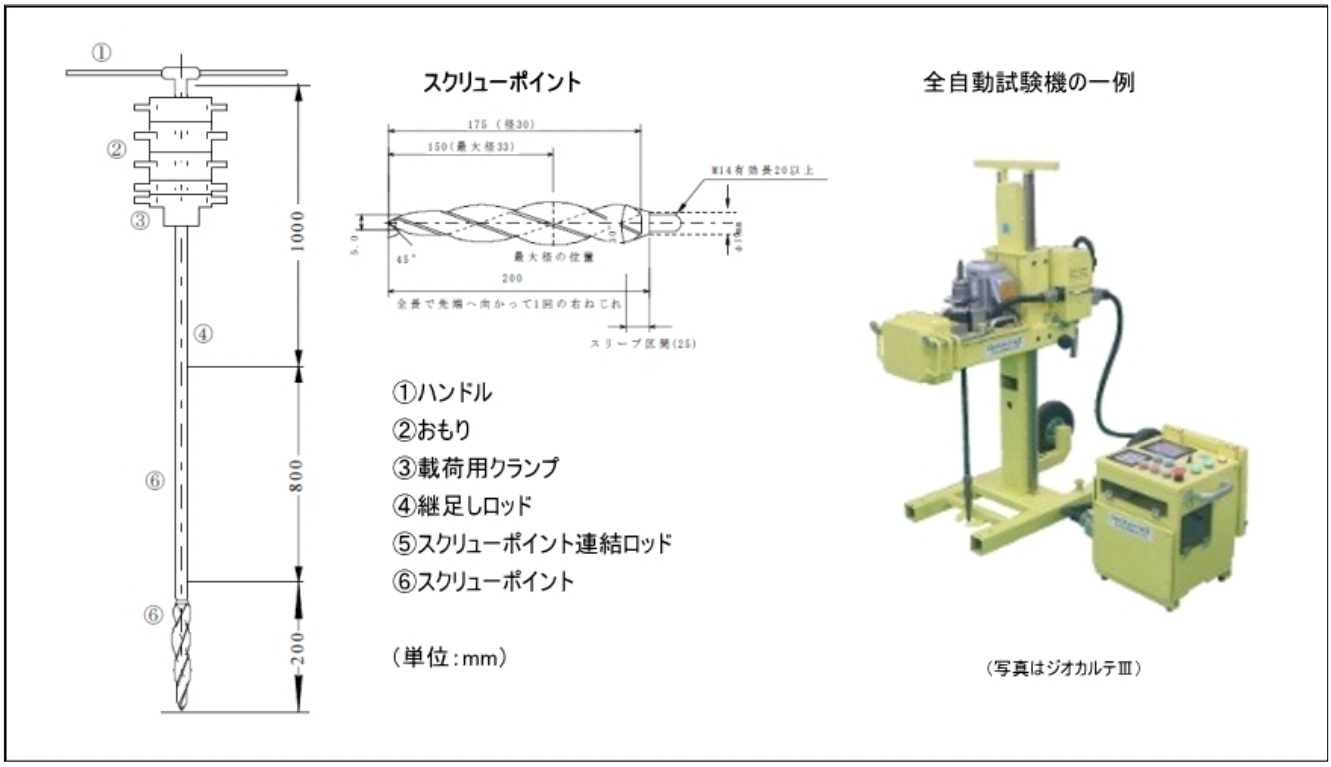
Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

調査方法（スウェーデン式サウンディング試験方法）説明

・スウェーデン式サウンディング試験方法とは

　スウェーデン式サウンディング試験は、北欧のスウェーデン国有鉄道が1917年頃に不良路盤の実態調査として採用し、その後スカンジナビア諸国で広く普及した調査を、1954年頃建設省が堤防の地盤調査として導入したのが始まりです。1976年にはJIS規格に制定され、現在ではJISA1221(2002)として戸建住宅向けの地盤調査のほとんどが本試験によって実施されるに至っています。

・試験装置は下図の通り



・試験の手順

1.）鉄の棒（ロッド）の先端に円錐形のスクリューポイントを取り付け、それを地面に垂直に突き立てます。

2.）ロッドには、自由に上下させたり途中で固定もできるクランプ、重さ５ｋｇを通し、さらに上端には水平に取手（ハンドル）を取り付けておきます。

3.）クランプに円筒形のおもり（１０ｋｇのおもり２枚と２５ｋｇのおもり３枚）を１枚ずつ静かに載せていき、１枚載せるたびに、ロッドが下方に沈むかどうかを観察し、記録します。

4.）全てのおもりを載せるとクランプの重さと合計して１００ｋｇになりますが、その際、ロッドの沈み込みがなく静止している場合には、ハンドルを回転させ、先端のスクリューポイントで土を掘進しながら強制的にロッドを貫入させ、ロッドを２５ｃｍ貫入させるのにハンドルを何回転させたかを記録します。

5.）規定の深度（後述）までの貫入が記録できた時点で測定を終了し、ロッドを引抜きます。

6.）ロッドを引抜いた後の、直径が３ｃｍほどの測定孔を利用し、孔が土で目詰まりしていない限り、メジャーで地下水位を計測・記録します。

※スクリューポイントとロッドにかかる荷重は段階的に5,15,25,50,75,100kgとなります。

※ハンドルの回転数は、180度（半回転）を1回とカウントします。すなわち、360度回せば2回となるので、記録は「半回転数」という表記になります。

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

地盤情報マップ（簡易地歴）

最新

2005～2007年

提供されていません

1988～1990年

提供されていません

1984～1986年

提供されていません

1979～1983年

1974～1978年

提供されていません

1961～1964年

1945～1950年

場所や年代によっては、提供されていない場合があります。

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

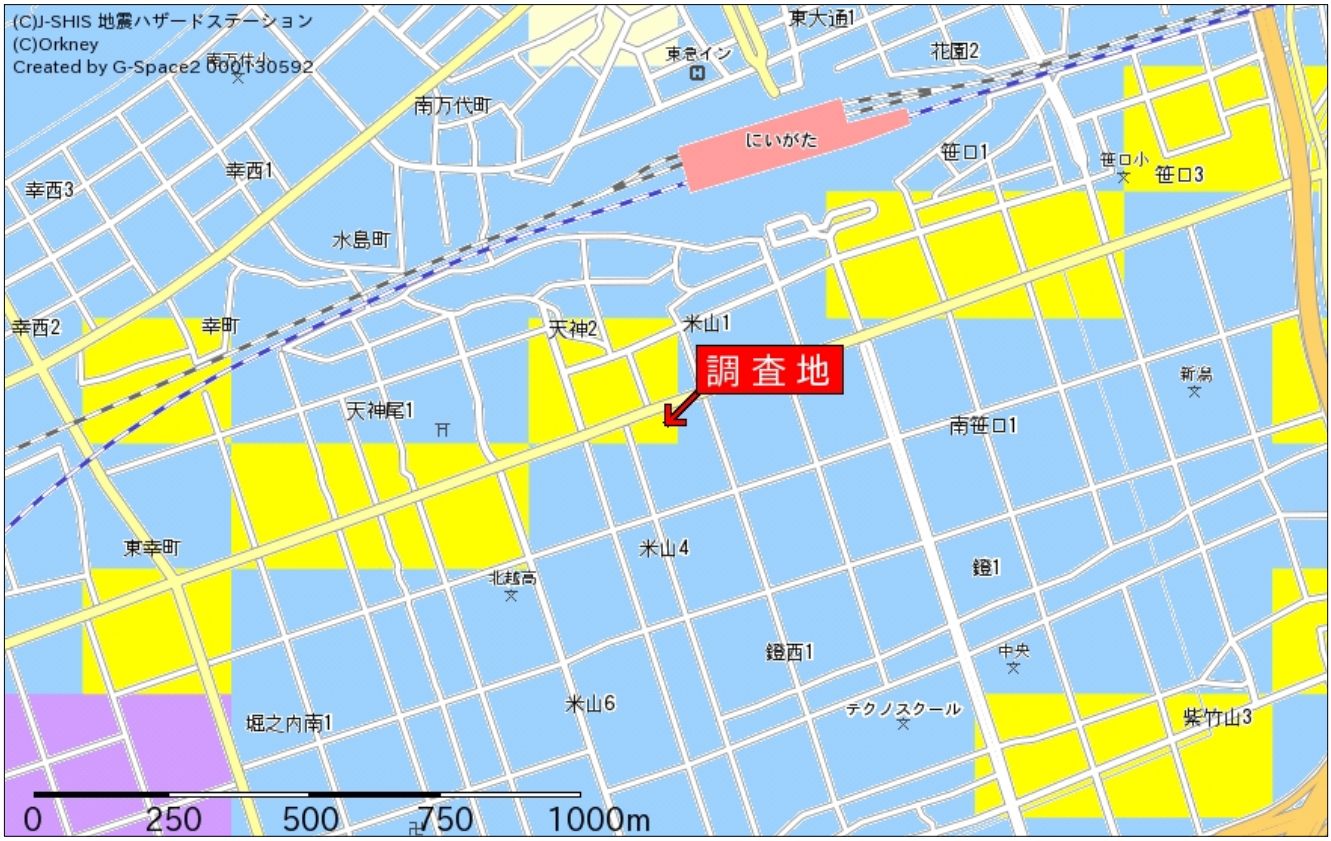
地盤情報マップ（土地条件図）

調査地の区分：人工地形/盛土地

- 斜面/斜面（山地）
- 変形地/壁岩
- 変形地/禿しゃ地・露岩
- 変形地/地すべり（崩壊部）
- 変形地/地すべり（堆積部）
- 変形地/地すべり地
- 台地・段丘/高位面
- 台地・段丘/上位面
- 台地・段丘/中位面
- 台地・段丘/下位面
- 台地・段丘/低位面
- 台地・段丘/台地・段丘
- 台地・段丘/対比困難な段丘
- 台地・段丘/洪積台地
- 台地・段丘/岩石台地
- 台地・段丘/溶岩台地
- 台地・段丘/更新世段丘
- 山麓堆積地形/麓屑面
- 山麓堆積地形/崖錘
- 山麓堆積地形/土砂流堆
- 山麓堆積地形/土砂流段丘
- 山麓堆積地形/山麓堆積地形
- 山麓堆積地形/崖錘・麓屑面・土砂流堆
- 低地の微高地/扇状地
- 低地の微高地/緩扇状地
- 低地の微高地/自然堤防
- 低地の微高地/砂丘
- 低地の微高地/砂（礫）堆・州
- 低地の微高地/天井川沿微高地
- 低地の微高地/旧天井川の微高地
- 低地の微高地/台地・段丘状の地形
- 低地の微高地/自然堤防・砂州・砂堆
- 低地の微高地/砂州・砂堆・砂丘
- 凹地・浅い谷/凹地・浅い谷
- 低地の一般面/谷底平野・氾濫平野
- 低地の一般面/海岸平野・三角州
- 低地の一般面/後背低地
- 低地の一般面/旧河道
- 低地の一般面/湖岸平野・三角州
- 頻水地形/天井川の部分
- 頻水地形/高水敷
- 頻水地形/低水敷・浜
- 頻水地形/湿地・水草地
- 頻水地形/落堀
- 頻水地形/潮汐平地
- 頻水地形/低水敷・浜・潮汐平地
- 頻水地形/高水敷・低水敷・浜
- 水部/水部
- 水部/河川・水涯線及び水面
- 水部/旧水部
- 火山地形/火砕丘
- 火山地形/溶岩円頂丘
- 火山地形/火口
- 火山地形/溶岩流地形
- 人工地形/平坦化地
- 人工地形/農耕平坦化地
- 人工地形/切土斜面
- 人工地形/盛土斜面
- 人工地形/高い盛土地
- 人工地形/盛土地
- 人工地形/埋土地
- 人工地形/干拓地
- 人工地形/凹陥地
- 人工地形/改変工事中
- 人工地形/埋立地
- 人工地形/盛土地・埋立地
- 変形地/崖
- 変形地/崩壊地
- 変形地/地すべり地
- 遷急線等/遷急線

Copyright(c) G-Space Ⅱ Sweden Pro.

地盤情報マップ（微地形区分図）

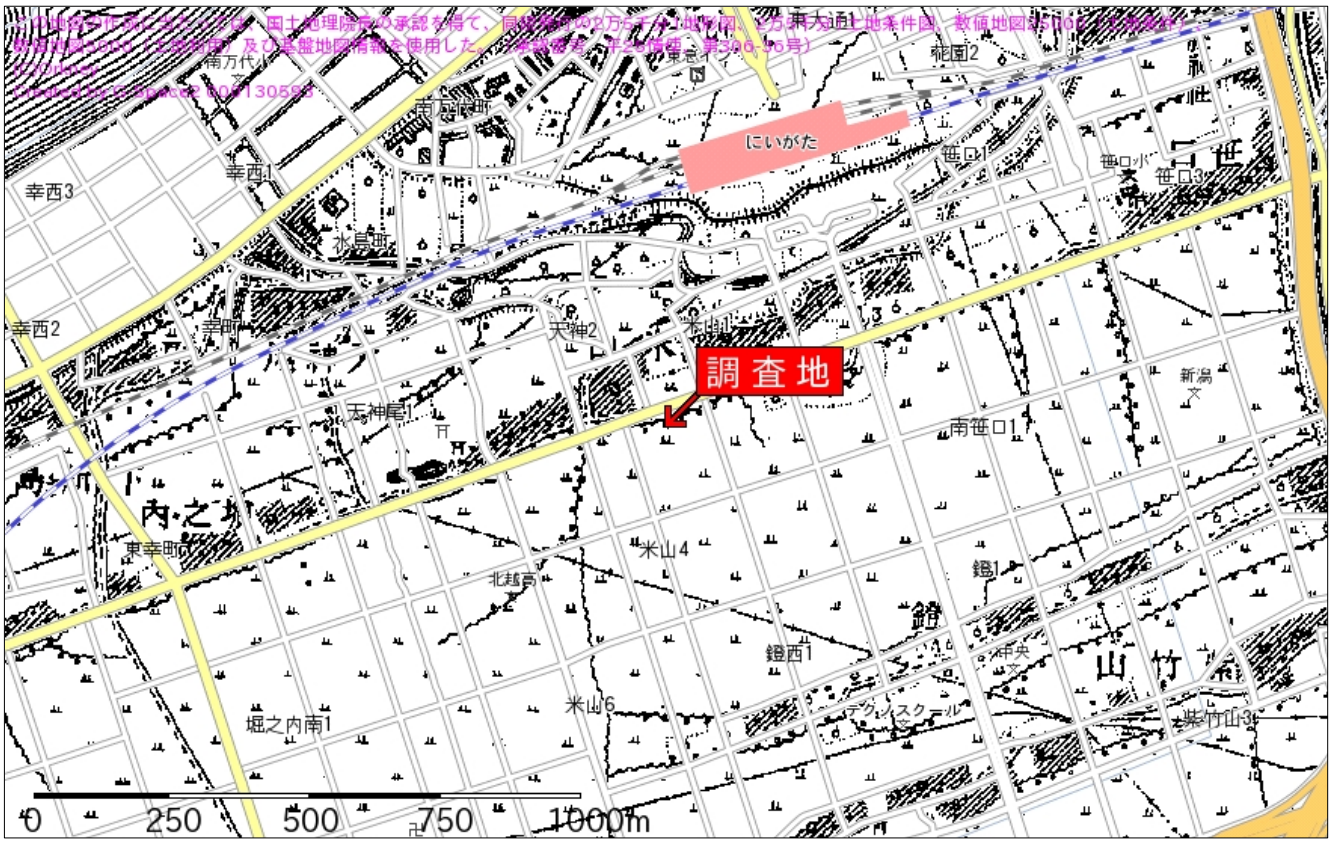


調査地の区分：砂丘

- 山地
- 山麓地
- 丘陵
- 火山地
- 火山山麓地
- 火山性丘陵
- 岩石台地
- 砂礫質台地
- ローム台地
- 谷底低地
- 扇状地
- 自然堤防
- 後背湿地
- 旧河道
- 三角州・海岸低地
- 砂州・砂礫州
- 砂丘
- 砂州・砂丘間低地
- 干拓地
- 埋立地
- 礫・岩礁
- 河原
- 河道
- 湖沼

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

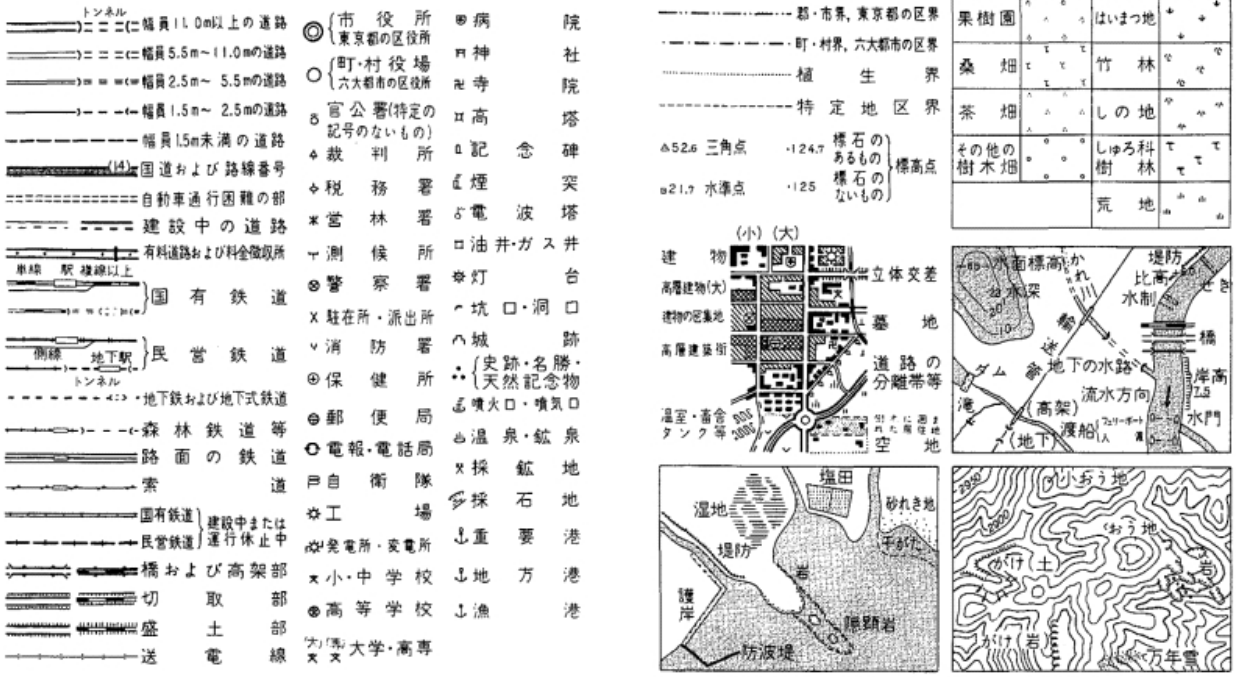
地盤情報マップ（旧版地形図）



1935年

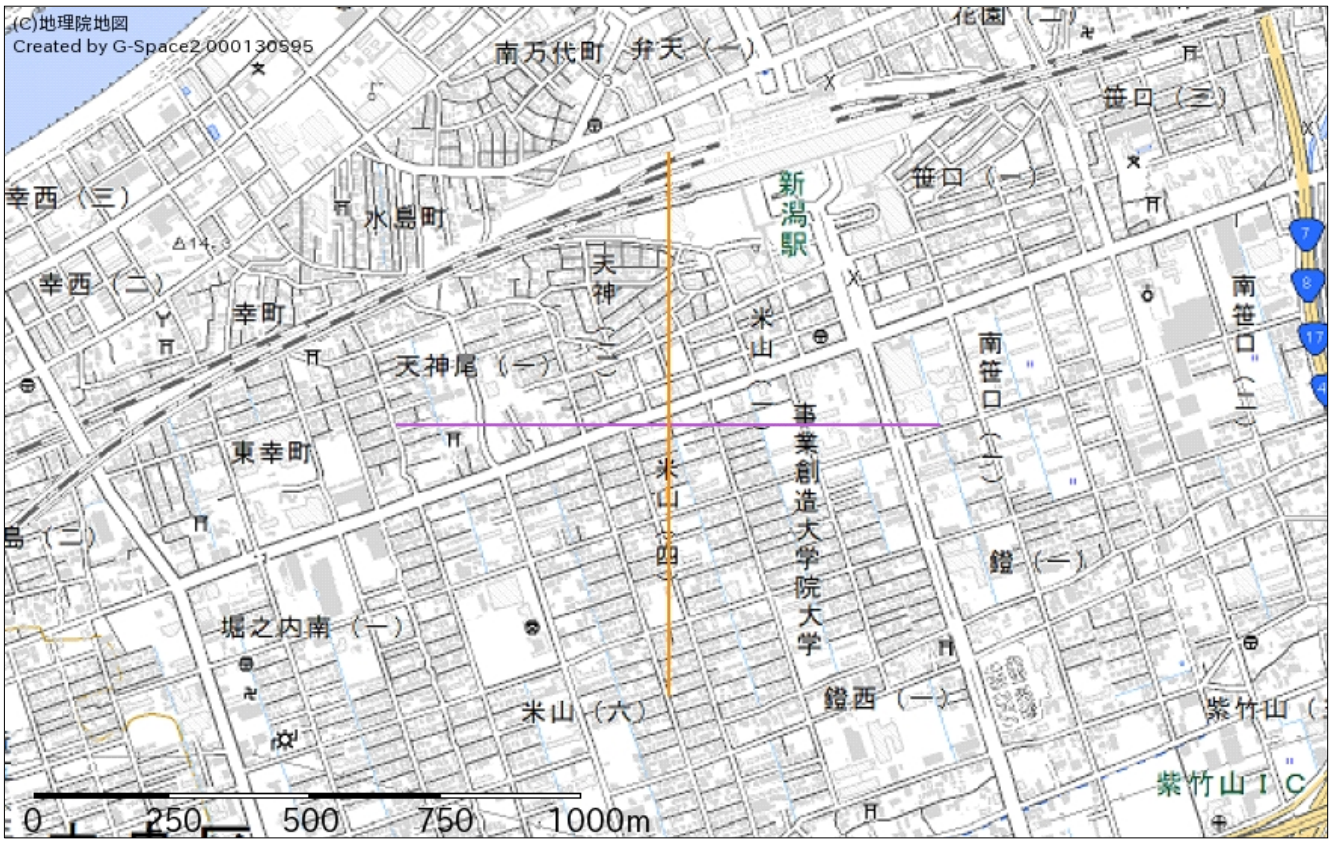
旧版地形図の凡例

※地形図の凡例は作成年によって異なる場合もあります。

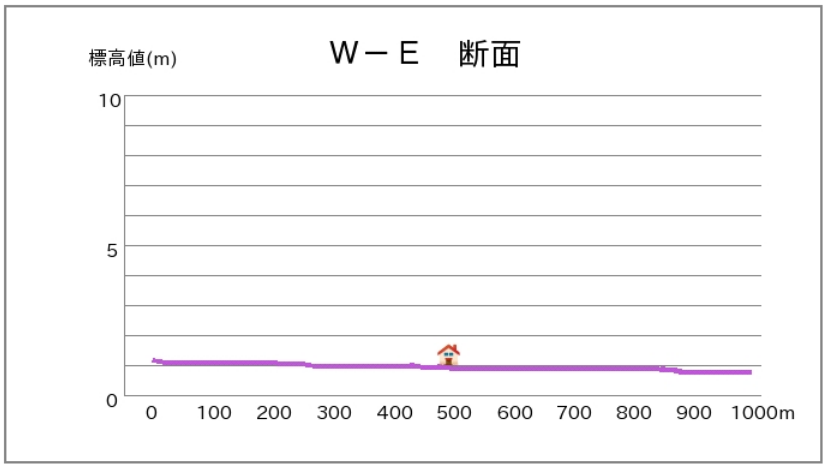


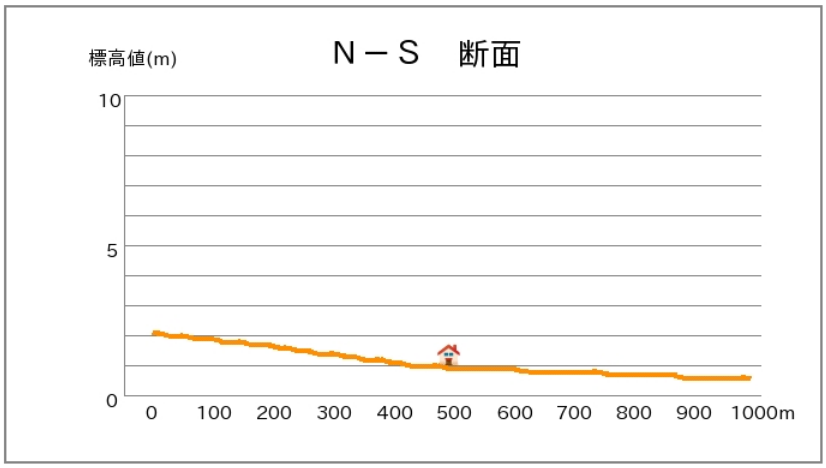
Copyright(c) G-Space Ⅱ Sweden Pro.

地盤情報マップ（地形断面図）



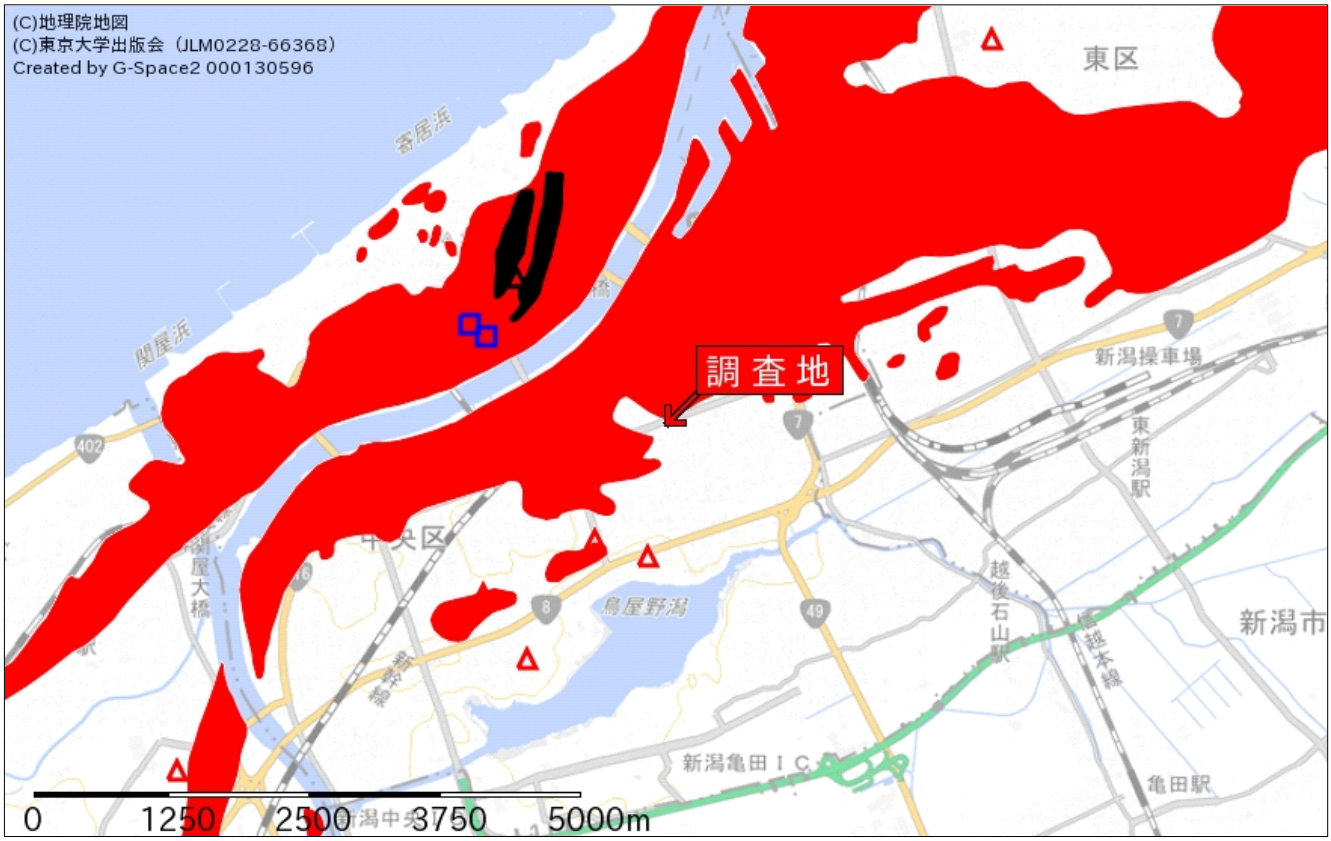
Created by G-Space2 000130594





Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

地盤情報マップ（液状化履歴図）



液状化履歴マップの見方

① 液状化発生地点の位置が地名で特定されている場合

・記号の大きさ（大中小）は、液状化発生領域の確実度を表しており、地震当時または地震被害調査当時にその地名が示す概略の範囲を表しています。
・記号（△▽□○◇）や色は地震ごとに統一しています。

大 ○ 位置が町村名や大字名など、複数の集落で構成される地域名で特定

中 ○ 位置が町村名や町丁名などの地区名で特定

小 ○ 位置が番地や集落内の小字名などの地点に近い情報で特定

≪注意≫
記号はその地名が示す地域や集落または番地の代表点にプロットされます。記号の中心点が液状化範囲の中心ではありません。

② 液状化が発生した正確な範囲が特定されている場合

ゾーンで表示

③ 液状化が発生した地点の正確な位置が特定されている場合

マークで表示

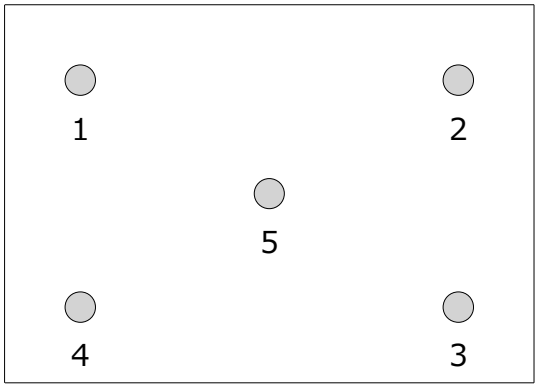
Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

推 定 断 面 図

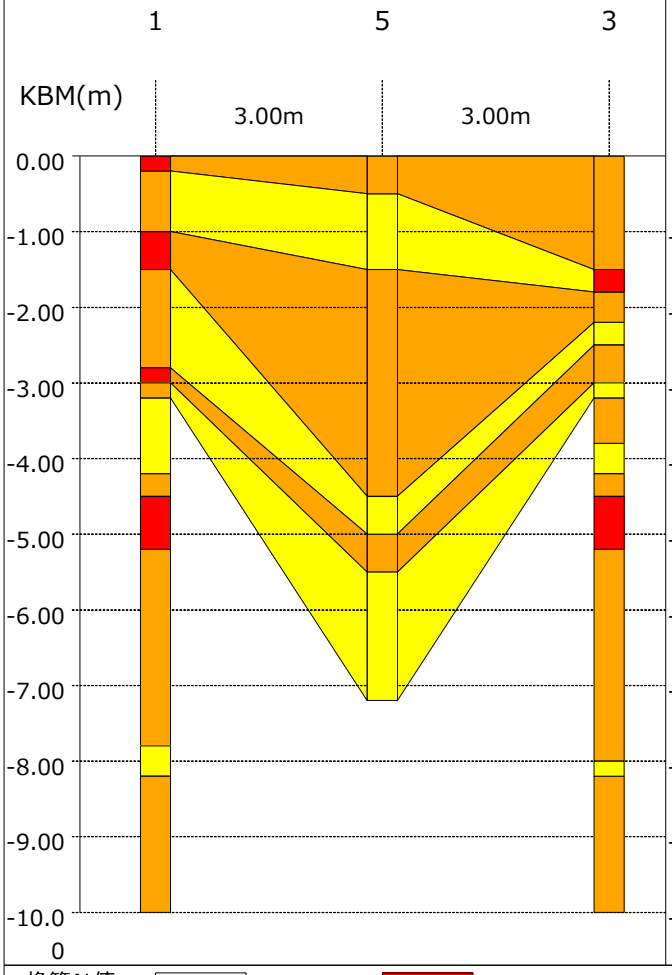
調査名： 地盤太郎様邸　　調査年月日 :平成27年8月28日

調査地点：新潟市中央区米山８８８－８８８－８８８

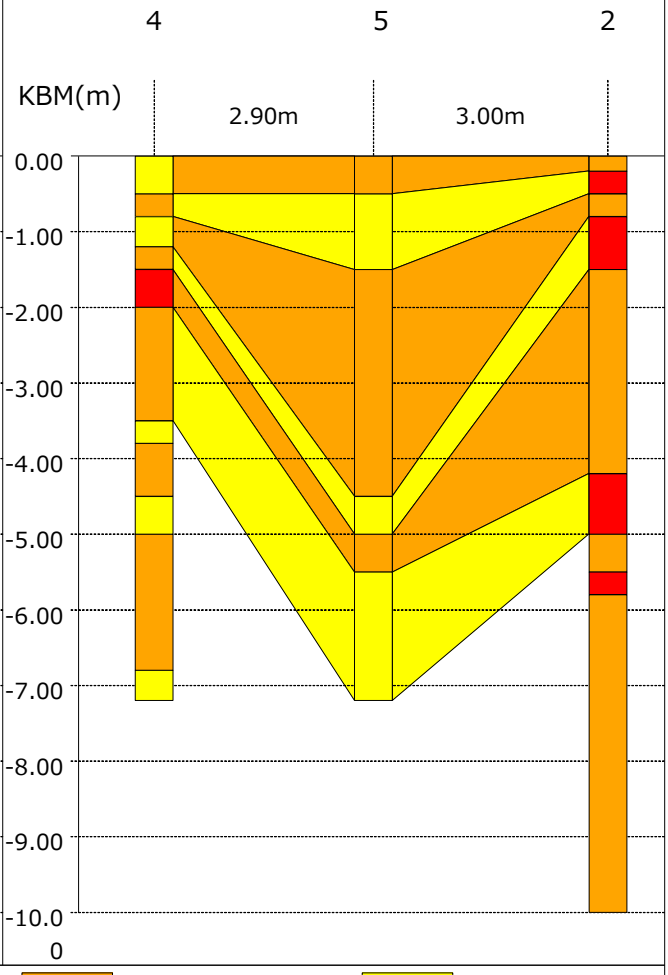
測点配置図



断面線1



断面線2



換算Ｎ値区分　：なし　：2.30未満　：2.30 ～ 6.25　：6.25以上

＜考察＞

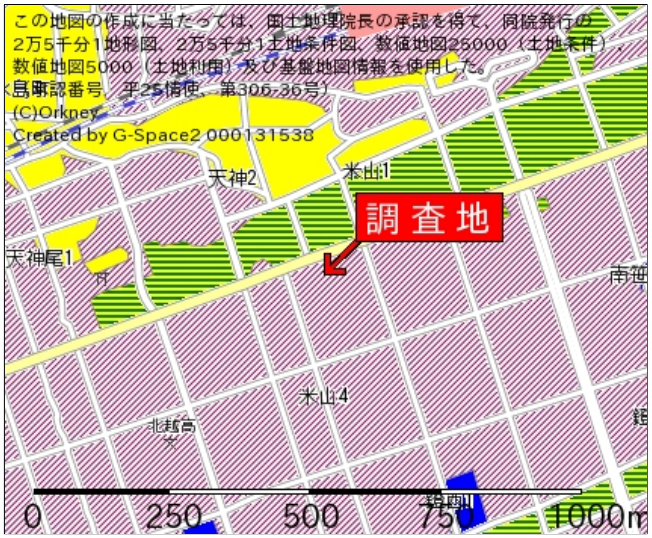
Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.

液状化危険度一次判定

液状化判定フロー

一次判定	二次判定	三次判定
液状化発生の可能性に関する広域情報による判定	ボーリング試験等による個別宅地の液状化判定	ボーリング調査による詳細な調査と解析による判定

地形地質の概要



標高※1	0.2m
土地条件区分※2	人工地形/盛土地
表層地盤-微地形区分※3	砂丘
産総研地質区分※4	後期更新世-完新世(H)の砂丘堆積物
傾斜角・傾斜方位※5	角度：1°未満　方位：平坦
土地利用区分※6	

出典：※1 国土地理院-地理院標高API（5m、10mメッシュ標高）　※2 国土地理院-数値地図25000（土地条件）H25発行版　※3 地震ハザードステーションJ-SHIS　※4 産業技術総合研究所-1/20万シームレス地質図　※5 国土地理院-基盤地図情報（10mメッシュ標高）を基に作成　※6 国土地理院-数値地図5000（土地利用）
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図、数値地図25000（土地条件）、数値地図5000（土地利用）及び基盤地図情報を使用した。（承認番号 平25情使、第306-36号）

液状化発生の可能性検討

関連試験	地下水位	G.L.-0.25 m（測定方法：周辺データ）
	土質	砂質土（ 周辺データ ）
可能性に関する広域情報	自治体液状化ハザードマップの評価	液状化の可能性が高い （ ○○市ハザードマップ ）
	液状化履歴	1964年新潟地震で付近に液状化の可能性あり （ 日本の液状化履歴マップ 745-2008 ）
	地形区分による液状化の可能性※7	可能性非常に大きい（ 国土地理院 土地条件図 ）
	特記事項	ここにコメントを入れる

※7 「土地条件図の数値データを使用した簡便な災害危険性評価手法」(国土地理院)に準じ、土地条件図を元に作成、土地条件図が未整備のエリアは、前述の評価手法を参考に表層地盤-微地形区分を元にアサヒ地水探査株式会社が独自に評価。

一次判定	液状化の可能性大
二次判定の必要性	二次判定が必要

Copyright(c) G-SpaceⅡ Sweden Pro.